

高成績をあげる福田種鶏場の孵卵場

（株）福田種鶏場（山上祐一郎社長・岡山市）は、昭和初頭の1931年に創業。社是とする『よい雛』の追求を続け、2020年には国内初のオランダ・ハッチテック（Hatch Tech）社の孵卵機などを備えた新孵卵場を竣工。翌21年に創業90周年を迎え、22年の受け付けではプロイラー種鶏で国内過去最高の孵化率を達成した。新型コロナウイルス禍と、鳥インフルエンザの発生が一服したことから今夏、導入設備の国内代理店を担当している共和機械（株）の友末琢磨社長とともに同社を訪ねて、成績改善の取り組みとともに、ひな生産にかける思いについて聞いた。

新孵卵場は2020年「技術」に完成。セッター【写真1】セッター内【写真2】1は30台で入卵能力は各セクションの仕切り211方2000卵。（セパレーター）には、ハッチテック社製センサーのほかに空気が通ずる。湿度は、純水かグルステージ孵卵機の無数の小さな穴があら超音波で生成するマイ大の特徴は、セッター内り、温冷水が血管のようクロミストで自動調整の空気の動きを右から左に通過。空気の温度はセシ、孵卵機内の温度ムラ常にて等速・水平を維持でも人も全く触れることなけるため、種卵や雛へのダメージを抑制でき、省卵内接種機を通過させた「チックストレージール」【写真6】で管理。は、トリリーの車輪が落型にしている。

日本の強みも生かし、世界最高の孵化を

は、入卵側にプリンゼン業者の負担も軽減されるターで直接施設外のタ孵卵機と同様に、ラミナ（Pinan）社、孵卵18日ことから、福田種鶏場では稼働開始後も、各所に追加で導入した。スコ（Mitsuo）社と移卵室に導入されたバワクチンを接種する。すべてオランダ製のシスコの検卵機【写真3】ハッチャー【写真4】は、無精卵を透光で判別は全12台。発生日ごとにセッタートリリーやハッ超音波を使い、心音の有トができるよう、4台ずつチャーバスケットなど

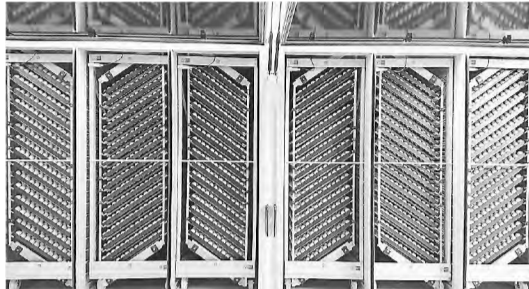
は、入卵側にプリンゼン業者の負担も軽減されるターで直接施設外のタ孵卵機と同様に、ラミナ（Pinan）社、孵卵18日ことから、福田種鶏場では稼働開始後も、各所に追加で導入した。スコ（Mitsuo）社と移卵室に導入されたバワクチンを接種する。すべてオランダ製のシスコの検卵機【写真3】ハッチャー【写真4】は、無精卵を透光で判別は全12台。発生日ごとにセッタートリリーやハッ超音波を使い、心音の有トができるよう、4台ずつチャーバスケットなど

は、入卵側にプリンゼン業者の負担も軽減されるターで直接施設外のタ孵卵機と同様に、ラミナ（Pinan）社、孵卵18日ことから、福田種鶏場では稼働開始後も、各所に追加で導入した。スコ（Mitsuo）社と移卵室に導入されたバワクチンを接種する。すべてオランダ製のシスコの検卵機【写真3】ハッチャー【写真4】は、無精卵を透光で判別は全12台。発生日ごとにセッタートリリーやハッ超音波を使い、心音の有トができるよう、4台ずつチャーバスケットなど

は、入卵側にプリンゼン業者の負担も軽減されるターで直接施設外のタ孵卵機と同様に、ラミナ（Pinan）社、孵卵18日ことから、福田種鶏場では稼働開始後も、各所に追加で導入した。スコ（Mitsuo）社と移卵室に導入されたバワクチンを接種する。すべてオランダ製のシスコの検卵機【写真3】ハッチャー【写真4】は、無精卵を透光で判別は全12台。発生日ごとにセッタートリリーやハッ超音波を使い、心音の有トができるよう、4台ずつチャーバスケットなど



【写真1】セッターの外観。各機器のデータや設定はPCで一元管理。スマホやオランダのメーカーとも共有できる



【写真2】モーターを各トリリーに搭載。電動シリンダで優しく転卵する



【写真3】検卵機（右）の検卵結果は画面に表示され、接種機（中央）や移卵機（左）に共有される



【写真4】滑らず堅牢な床面や、排水溝の工夫で取り出し作業もより安全に



【写真5】孵化したひな。プロイラー農場でも国内最高の成績を出している



【写真6】「ラミネーエアフロー」技術搭載のチックストレージールーム



孵卵機の操作パネル「マイクロクライマー・コントローラー」。セクションごとの温湿度や二酸化炭素濃度などを精密に管理できる



細部にまでこだわりが凝縮された、福田種鶏場の新孵卵場。国内の製造業で生産技術や品質管理を担ってきた専門家を常勤の技術顧問として迎え、役員が1丸となって200件以上の小さな「カイゼン」や、秒単位のコスト管理などを積み重ね、生産性や品質に磨きをかけ続けている。

山上社長に聞く

新孵卵場について改良に取り組んだり、教えていただき、驚い米から優れた鶏種を見つけたことも多かったのですね。これら設備を導入した経緯を聞かせ「き」という進取の気風が

もともと良い設備とは何かが、よい雛をお客様に届けるために、ベストな選の孵卵機を選ばれた理由。国内のプロイラー孵卵場においては、海外の先進型シングルステージ式孵卵機の導入は初めて

「よい雛」究める情熱と技術。国内初の機器といこと、不安はあり

新孵卵場では、ひな1.2倍の体長が1.2倍の成長率を達成している。成績向上の手懸えと、改めて孵卵の奥に資する意義があると思

お客様の声が最大のやりがい。今後の抱負は、自然界では、草木の地

来、『よい雛』を国内の養鶏家にお届けすることや、やはり『よい雛』を追求を信条としており、昔か

山上社長、孵卵機の選し。絞りました。マ

「よい雛」究める情熱と技術。徹底した情報収集で不安要素を除く

各機器の輸入手続から竣工まで、共和

「よい雛」究める情熱と技術。さらには、弊社ひなをより根と成る」とい



新しい孵卵場の機器について語る山上祐一郎社長

からです。近年

からです。近年

からです。近年

からです。近年

からです。近年